

まちをごみ箱にしたのは誰ですか！ ごみマップづくり 羽幌地区環境計画町民会議

環境計画

news NO 20



5月23日、羽幌地区環境計画町民会議で、ごみマップづくりが行われました。町民会議メンバーがカメラで町内のごみ不法投棄現場を撮影しタタミ2畳分の地図2枚に写真200枚を貼りました。昨年も同様にごみマップを作りましたが、メンバーの感想は市街地のごみのポイ捨ては減ったように感じるが、一步郊外に行くと道路から見えづらい所に大量の不法投棄が見られる。

特にひどいのは、高台のごみ埋立処理場へ行く町道朝日公園・高台線の駐車場公園とその周辺の沢地の中と中央13線から朝日二股沢に抜ける町道朝日・中央連絡線がひどい状況にあります。

テレビやステレオ、タイヤやごみ袋に入った一般ごみやプラスチックごみが山積みになっています。

あきれぐらい大量のごみが投棄されています。羽幌地区環境計画町民会議では6月に駐車場公園のごみ回収を行い、どのようなものが投げられているか、氏名の特定が出来ないか調査を行います。



ビオトープ 「自然空間はぼろ」で植樹

5月20日、羽幌みんなでつくる自然空間協議会と北るもい漁業協同組合女性部が主催して「自然空間はぼろ」で植樹をしました。

これには、羽幌高校1年生90人と先生や一般町民も参加し140人でカラマツ、トドマツ、ミズナラ、ヤチダモなど1,200本を公園内の防風林用地に植えました。前日の雨の影響でぬかるんだ中で、ドロだらけにしながら悪戦苦闘の作業でしたが、2時間程度ですべて植えることができました。この事業には北るもい漁業協同組合と花王・みんなの森づくり活動事業から助成をいただきました。今後、公園作りは作業用道路整備や北海道池の建設作業に入っていきます。皆さんも一緒に作りませんか、お問合せは北海道海鳥センター(☎69-2080)へ



豊かな海を取り戻すため 木を植えよう！

焼尻地区環境計画町民会議

5月26日、焼尻地区環境計画町民会議が主催し、昔の豊かな海を取り戻すために植樹事業を行いました。焼尻中学校と北るもい漁業協同組合焼尻支所女性部や一般島民のご協力をいただき、町民会議メンバーと合わせて30人がギンドロの苗木300本を焼尻めん羊牧場内の沢地に植樹しました。

アワビやウニは最初から昆布などを食べるわけではありません。最初は藻を食べて大きくなります。その藻を作るのが森の栄養分で、木の葉などが分解され水に溶け、海に流れ込みます。そうして藻が育ちます。森と海は密接に関わっているのです。そのことを勉強した町民会議メンバーが発案し未来の子供たちに豊かな海を残すため植樹をしました。



環境計画町民会議へのご意見をお待ちしています。事務局(町民課自然環境担当)へご連絡ください。

☎ 62-1211(内線 105) E-メール choumin@town.haboro.hokkaido.jp